

2026年度・年末手当申入れ！

基準内賃金の3.5箇月を要求！



国労東海

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 丹羽 俊介 殿

国労東海申第2号
2026年10月9日

国鉄労働組合東海本部
執行委員長 渡邊 和久

申 入 書

2026年度年末手当の支払いについて

中東などをはじめとする世界各地での紛争は、いまだに日本だけでなく世界経済に大きく影響を与えている。

国内景気では、内閣府が9月に発表した月例経済報告では「景気は緩やかに回復しているが、中東情勢や自然災害の影響を注視する必要がある。」というこれまでの判断を維持している。

JR東海は、「日本の大動脈と社会基盤の発展に貢献する」という経営理念の下、安全の確保を最優先に、サービスの一層の充実、社員の業務遂行能力の向上、設備の強化に取り組んできた。その上で生活様式や働き方の変化によりニーズが多様化していることや、労働力人口の減少により業務の在り方の変革が求められていることなど、会社の取り巻く環境の大きな変化を踏まえ、飛躍的に変化する AIを含め最新のICT等の技術を活用して効率的な業務執行体制を構築する「業務改革」と新しい発想による「収益の拡大」の2つを柱とした「経営体力の再強化」に取り組んできている。

令和8年度第1四半期の決算は、昨年大阪・関西万博終了後の反動が予測されるなか、当初予想より利用者が増加した一方で、労務費等も増加し、増収減益の業績となり、10月末には第2四半期の決算発表を予定している。

コロナ禍以降、会社の変革期を迎えるなか、JR東海に働く多くの社員は、指定公共交通機関ではたらく役割を強く自覚し、各々が日々の業務を着実に遂行してきた。昨年は年間支給月数が過去最高となったが、好業績に対して支給月数は抑えられ、十分な回答とならず社員の不満と喪失感が続いている。

期末手当は業績反映が色濃い賃金であるが、社員や家族にとっては生活給化しているのも現実であり、社員のこれまでの働きに対し、2026年度年末手当について3.5箇月の支払いを強く求めるものである。

よって、下記の要求を申し入れるので真摯に受け止め、早急に団体交渉を開催し解決を図りたい。

記

1. 支払い額は、2026年11月1日現在における「基準内賃金の3.5箇月分」を支払うこと。
2. 支払いにあたっての成績率の査定は、厳格・公正・公平に行うこと。
3. 回答は、2026年11月13日までとすること。
4. 支払いは、2026年12月10日までとすること。

以 上

国労東海本部は10月9日、2026年度・年末手当の支払いについて会社に申入れを行いました。
引き続き好調な業績・社員の努力・組合員、職場の声を集約し、要求獲得に向けて全員で奮闘しましょう。

国鉄労働組合
東海エリア本部

東京都区新橋5-15-5
交通ビル7階
発行責任者 渡辺和久
編集責任者 教宣部長



がん保険の枠を超え、一人ひとりに最適な安心を

保障と相談サポートで

あなたによりそう
がん保険
ミライト

No.1 アフラック
がん保険
契約件数
各社の総合報告などに基づくアフラック調べ(2024年3月時点)



《募集代理店》(アフラックは代理店制度を採用しています)

アベニール株式会社
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3階
Tel.03-3437-6810

《引受保険会社》

「生きる」を創る。
Aflac

アフラック
法人第二営業部
〒163-0456 東京都西新宿2-1-1 新宿三井ビル20階
Tel.03-6385-9829

詳細については
国労東海HPより、
交渉情報を参照願います。

2026年度年末手当
獲得に向け、全組合員
の職場からの奮闘
で要求を勝ち取りま
しょう！